

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年9月18日 (2014.9.18)

【公開番号】特開2013-41349(P2013-41349A)

【公開日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-010

【出願番号】特願2011-176492(P2011-176492)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 3 5 3 C

G 0 6 F 13/00 3 5 1 L

G 0 6 F 13/00 5 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月5日 (2014.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

ところで、図 2 に示すように、フロントエンドがマルチレスポンス方式の機能を有する場合であっても、例えば 3 つのポーリングレスポンスを返したいときに、2 つのタイムスロットしかない、スロット不足のため、一度にポーリングレスポンスを返信することができなくなる。このように、マルチレスポンス方式では、スロット数が多ければ、ポーリングレスポンスを全て返信することが可能となるが、リーダが、TSN=0,1 など、小さい TSN (Time Slot Number) によりポーリングしてきた場合に、スロット数が不足してしまい、全てのポーリングレスポンスを返せなくなるときがある。